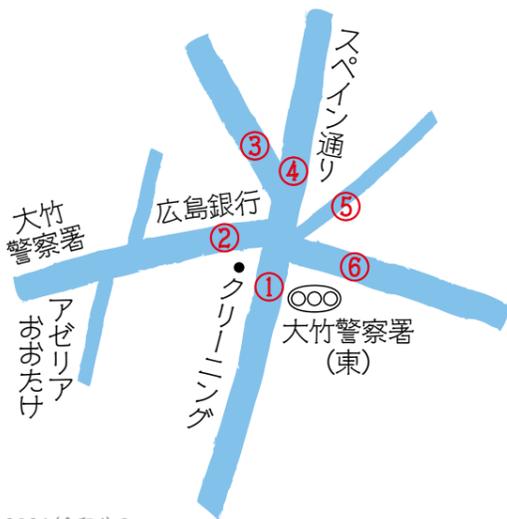




昭和30年ごろの権現橋の交差点

大竹市内には大小さまざまな交差点があります。中にはちょっと複雑な「多叉路」と呼ばれるものもあり、そこには歴史の片りんを見ることができるよう。かつて水路だったところが暗渠となったり、農道や里道が舗装されたり、参道の名残だったりします。そんな多叉路を訪ね歩いてみました。【取材 企画財政課】

オオ ブラタケシ 大竹多叉路散歩



現在の大竹警察署(東)交差点【権現橋】

①手向け水をささげます②原爆死没者名簿を奉納③深々と頭を下げて祈る参列者④さまざまな花が祭壇に飾られます。



8/6
TUE

平和の尊さを次世代へ

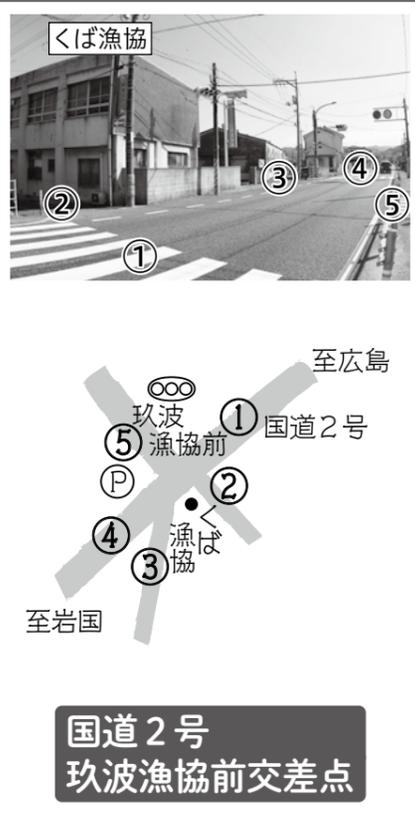
総合市民会館「叫魂」碑前

広島に原子爆弾が投下されてから79年、『大竹ヒロシマの日』として42回目となる『原爆死没者追悼・平和祈念式典』が厳かに執り行われました。この1年間に亡くなられた29柱の被爆者を加えた2559柱の死没者名簿奉納の後、8時15分のサイレンが鳴り響き、参列者は黙とうをささげました。主催者を代表して市原爆被害者友会の賀屋幸治会長が式辞を述べ、小・中・高校生の代表が戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを訴えました。式典は、平和への強い思いが込められた二階堂和美さんの歌『伝える花』が流れる中、参列者の献花で、幕を下ろしました。司会進行を務めた大竹高校の松本紫音さん(1年)は緊張はあったものの無事やり遂げることができ、ほっとした様子。同校の中川颯さん(1年)は「原爆被害者友会の方の話聞いて改めて原爆の恐ろしさを知った。平和について考える良い機会になりました」と語ってくれました。

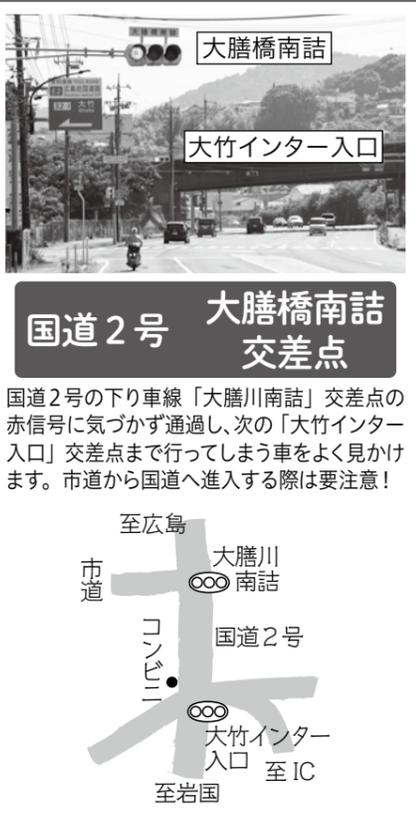
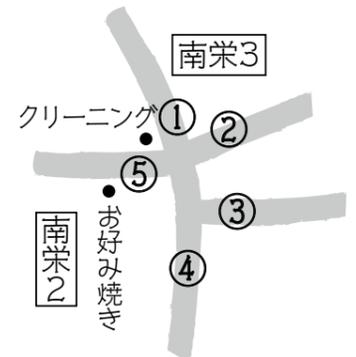
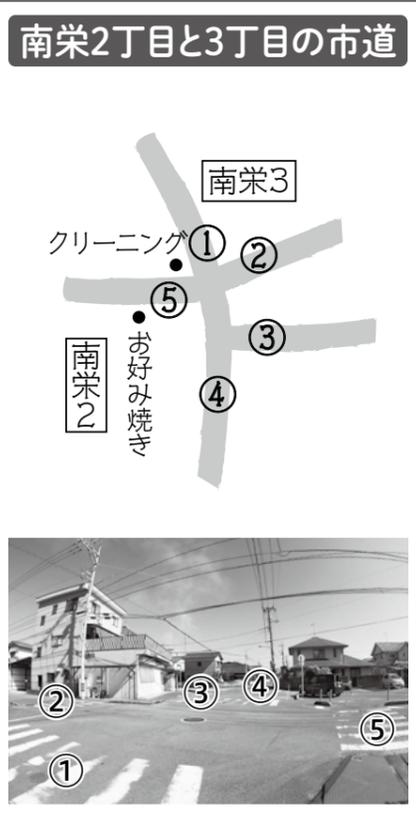
⑤式辞を述べる市原爆被害者友会の賀屋会長⑥小・中・高校生代表が「叫魂」碑に折り鶴を献納⑦遺族と一般参列者の献花の列が続きます⑧「平和への誓い」を表明する町田利彩さん(玖波中3年)⑨後藤徹平くん(大竹小6年)



⑩藤川侑正さん(大竹高2年)司会進行を務めた松本さん(左)と中川さん(右)⑪黙とうをささげる参列者⑫原爆投下時刻の8時15分にサイレンが鳴り響きます。

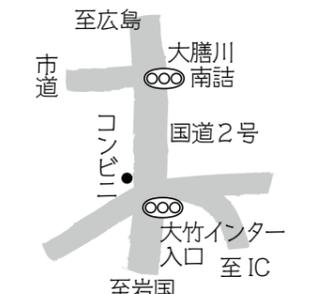


国道2号
玖波漁協前交差点



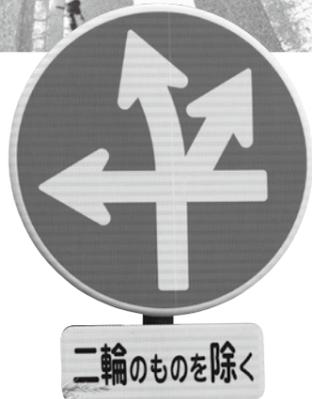
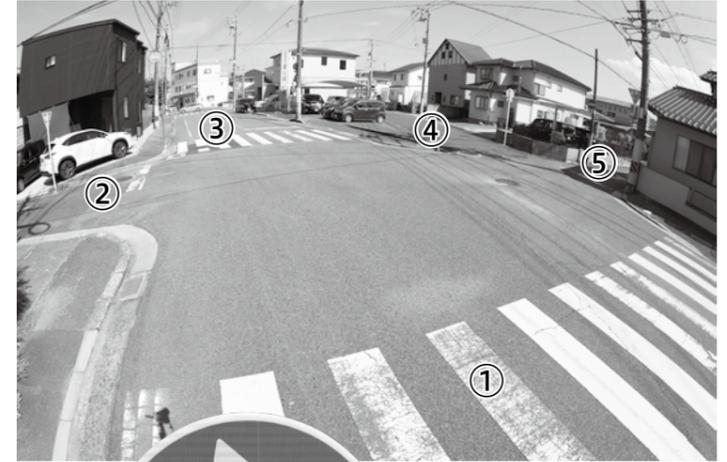
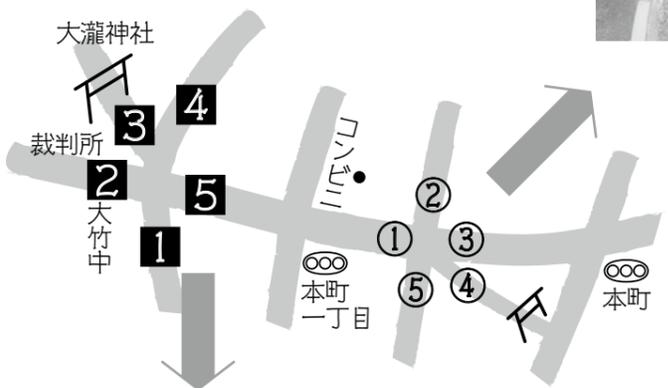
国道2号 大膳橋南詰
交差点

国道2号の下り車線「大膳川南詰」交差点の赤信号に気づかず通過し、次の「大竹インター入口」交差点まで行ってしまおう車をよく見かけます。市道から国道へ進入する際は要注意!



オオ ブラタケシ 大竹多叉路散歩

まだまだ複雑な交差点はありました。信号のあるなしにかかわらず、交差点で注意することを大竹警察署の方にも聞いてみました。



本町一丁目交差点
と本町交差点の間



大竹中学校

大瀧神社

大竹中学校前交差点

秋の全国交通安全運動
9月21日(土)▶30日(月)
9月30日(月)は「交通死亡事故ゼロを目指す日」です

運動重点

- ① 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- ② 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用推進と飲酒運転等の根絶
- ③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

大竹市内での年間の人傷事故の件数は、30件前後で推移しています。交差点の事故であれば、今年はやめタウン前の国道で死亡事故がありました。こうした大きな交差点での事故が目が行きがちですが、実は人傷事故にまでは至らない自転車と車とが接触するケースが多くみられます。

大竹市の特徴として、細い路地が多いような印象です。そこから飛び出してくる自転車と車の出合い頭の事故があります。これも一歩間違えれば大きな事故につなが

交差点では 二段停止を

大竹警察署交通課
交通総務係長 志水 孝章さん

る恐れがあります。また、信号のない交差点では、塀などで運転席から見通しが悪い場合、停止線を越えて左右を確認するためには止まることができず、突っ込んで来た自転車とぶつかってしまうことがあります。停止線でいったん止まり、ゆっくりと見えやすい位置まで進んで再度止まり左右を確認、交差点に入るといった二段停止をしてみたいと思います。

国道2号
西栄2丁目交差点

ガソリンスタンド

大竹駅前口

飛出し注意

コミサロ元町前

光明寺 消防庫

コミュニティサロン元町

光明寺

飛出し注意